

中堅学年になる

緑学年の生徒達へ

学校の伝統を引き継いでいく大切な学年です

新2年生になる緑学年の皆さん、元気に生活していますか。2月末からずっと臨時休業が続き、生活リズムも一定していないのではないかと心配しています。4月15日(水)、いよいよ学校再開となる予定です。起床時間や就寝時間を意識してくださいね。

皆さんは、昨年1年間で中学校生活の流れが理解できたと思います。あわただしくもあり、楽しさもあり、喜びもあり、悩みもあり、様々な思いで1年間を過ごしたのではないかと思います。

今年は、いよいよ先輩になり、学習や委員会活動、部活動等で、張り切って頑張ろうと思っています。4月という季節は、年度替わりでもあるので、それまでの事を振り返り、気持ちを新たに、目標を立ててスタートする新鮮な時期でもあります。普段通りの日常であれば、本当に意欲がわいてくるシーズンでもありますよね。

しかしながら、この度の事態で、皆さんだけではなく、世界中の国や人々が感染症の不安や恐怖の渦中にいます。皆さんの生活も、1ヶ月以上の休業期間という制約がありましたし、学校生活が始まっても、なかなか思ったような活動ができないかもしれません。

2月末、臨時休業になる前日、急きょ、予餞会を行いました。練習不足であったのにもかかわらず、学年全体がまとまって3年生に送り届けた気持ちや演技はとても素晴らしかったです。あの日以降、休業日が続いているので、お話ができませんでしたが、とても立派で心がこもっていました。皆さんには、あふれるエネルギー、そしてしっかりと自己主張をする事ができる高い資質があります。それはきっと、小学校生活を基盤としつつ、中学校生活を通して先生方と一緒に、様々な活動に取り組んできた成果だと思います。そして、先輩方から学んだ事も多かったと思います。とても嬉しく感じます。

昨年度は、戸惑いも多かったと思います。生徒の数も小学校時代よりもかなり多くなり、様々なかわりや人間関係に悩んだり、学習面や部活動で悩んだりした事もあったと思います。新年度になったらすぐに個々人の悩みは解消するものではありませんが、1年間の流れを理解しているという事はとても大切な事であり、今後の見通しや目標も立てやすいと思います。

今は、まず「体調面の自己管理」「我慢」「人との距離間」等がキーワードとなります。制約された中での学校生活をどのように考え、実行していくかという事が最優先です。学年や学級担任の先生方の指導を通して、一人一人が意識して生活してほしいと思います。皆さんがそのような成長した姿で生活する事が自分を守り、家族を守り、そして先輩としての模範的な行動となり、後輩の意識に繋がっていきます。赤学年の先輩方は、最後の1年間がどのようになるのかとても不安を感じながらの最終学年になります。皆さんは、中堅学年として何ができるのか、そして何よりも一人の個人としてどのように生活していけば、この困難な時期を乗り越えていけるのか、それぞれが考え、そして先生方と話し合いながら生活していきましょう。